



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 株式会社トーアミ 上場取引所 東  
コード番号 5973 URL http://www.toami.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川芳仁  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古田貴久 TEL 072-876-1121  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,380	33.0	56	55.2	75	59.3	91	—
2023年3月期第1四半期	3,294	17.9	36	△46.2	47	△51.9	△22	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 135百万円 (747.4%) 2023年3月期第1四半期 16百万円 (△64.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	15.14	—
2023年3月期第1四半期	△3.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,117	10,869	56.8
2023年3月期	18,359	10,782	58.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,857百万円 2023年3月期 10,767百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	14.2	160	—	190	—	100	—	16.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	6,400,000株	2023年3月期	6,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	375,751株	2023年3月期	375,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	6,024,249株	2023年3月期1Q	6,204,692株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、インフレの進行に対応して各国中央銀行の金融引き締めが続く中、ウクライナ情勢は長期化し、引き続き半導体などの供給不足や為替変動が大きく不安定な状況が継続いたしました。わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による規制の緩和等により、訪日客が増加するなど社会経済活動が正常化へ向かう中、日本銀行は金融政策を堅持し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、建設資材価格やエネルギー価格は続騰し、労働力不足の慢性化による受注環境の悪化に伴う採算見直しや計画見直しが発生するなど、当社グループを取り巻く市場環境は厳しい状況が続いております。

このような環境において、当社グループは、2021年4月からスタートした3か年を対象期間とする中期経営計画も最終年に入り、「安定から成長へ」をスローガンに、新市場開拓、設備投資による効率化、事業提携またはM&Aなどに果敢に挑み、強靱な事業基盤を築くことを基本方針とし、これらの重点施策に取り組んでおります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、土木・建築工事事業の売上高が大きく寄与し、43億80百万円（前年同四半期比 33.0%増）となりました。

損益面におきましては、材料価格が高止まり状況である中、販売価格の維持に努めたことや連結子会社との連携によるシナジー効果等により、営業利益は56百万円（前年同四半期比 55.2%増）、為替差益を15百万円計上したこと等により、経常利益は75百万円（前年同四半期比 59.3%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前第2四半期連結会計期間から、「土木建築用資材事業」の単一セグメントから、「土木建築用資材事業」「土木・建築工事事業」の2つのセグメントに変更しております。

#### (土木建築用資材事業)

土木建築用資材事業における売上高は、棒線加工品の溶接金網は大型案件が低迷し、中小案件等の受注競争の激化などにより全体として数量減となりましたが、フープ筋の出荷数量が増加したこと等により、売上高は増加し39億12百万円となりました。また、為替による原材料価格の高止まりや、光熱費や輸送費の上昇等の影響もありましたが、販売価格の維持に努めた結果、セグメント利益は1億51百万円となりました。

#### (土木・建築工事事業)

土木・建築工事事業における売上高は、民間企業の設備投資に関する引き合いは概ね好調に推移し、災害復旧などのスポット需要や、グループ内の土木建築用資材事業とパッケージ受注もシナジーを發揮し、売上高は5億8百万円となりました。また、外注労務費や建築資材の高騰の影響を受け建築躯体部門などの一部で不採算工事も発生するなどのコストが増加するなどの要因もありましたが、セグメント利益は15百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が191億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億57百万円増加しました。主な要因としましては、現金及び預金が2億22百万円、受取手形及び売掛金が3億68百万円、建物及び構築物が1億89百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、82億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億70百万円増加しました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が3億8百万円、短期借入金が4億円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、108億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加しました。これにより、自己資本比率は56.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,350,536	1,572,751
受取手形及び売掛金	3,073,757	3,442,454
完成工事未収入金	332,193	343,981
電子記録債権	1,440,089	1,458,581
商品及び製品	882,728	911,703
仕掛品	490,046	488,058
未成工事支出金	40,715	72,129
原材料及び貯蔵品	2,574,881	2,574,509
その他	389,074	46,125
貸倒引当金	△3,898	△3,869
流動資産合計	10,570,124	10,906,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,837,480	2,027,377
機械装置及び運搬具(純額)	826,955	903,854
土地	3,949,724	4,035,924
建設仮勘定	65,381	74,139
その他(純額)	14,670	16,437
有形固定資産合計	6,694,212	7,057,733
無形固定資産		
のれん	165,761	156,010
その他	33,361	35,233
無形固定資産合計	199,122	191,243
投資その他の資産		
投資有価証券	511,684	574,555
関係会社長期貸付金	96,503	103,667
退職給付に係る資産	264,465	264,010
その他	122,696	125,781
貸倒引当金	△98,938	△106,102
投資その他の資産合計	896,410	961,912
固定資産合計	7,789,745	8,210,889
資産合計	18,359,870	19,117,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,910,795	2,219,730
工事未払金	138,754	168,894
短期借入金	1,100,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	729,960	729,960
リース債務	18,203	15,371
未払法人税等	42,435	25,334
賞与引当金	85,273	46,038
工事損失引当金	15,284	23,391
その他	501,663	885,028
流動負債合計	4,542,370	5,613,750
固定負債		
長期借入金	2,206,751	2,024,261
リース債務	110,627	107,415
繰延税金負債	317,473	316,054
役員退職慰労引当金	67,790	69,265
退職給付に係る負債	74,625	78,035
その他	257,930	38,820
固定負債合計	3,035,197	2,633,851
負債合計	7,577,567	8,247,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,800	1,290,800
資本剰余金	1,269,783	1,269,783
利益剰余金	8,235,807	8,281,807
自己株式	△166,637	△166,637
株主資本合計	10,629,753	10,675,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154,924	198,338
繰延ヘッジ損益	△1,673	1,887
為替換算調整勘定	△36,160	△39,547
退職給付に係る調整累計額	21,059	21,522
その他の包括利益累計額合計	138,149	182,199
非支配株主持分	14,400	11,761
純資産合計	10,782,302	10,869,715
負債純資産合計	18,359,870	19,117,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,294,604	4,380,252
売上原価	2,756,573	3,741,059
売上総利益	538,031	639,192
販売費及び一般管理費	501,367	582,292
営業利益	36,663	56,899
営業外収益		
受取利息	458	2,511
受取配当金	7,452	7,585
為替差益	5,912	15,073
受取賃貸料	6,346	6,551
その他	2,790	4,655
営業外収益合計	22,959	36,377
営業外費用		
支払利息	1,198	2,956
持分法による投資損失	4,633	5,724
貸倒引当金繰入額	3,695	7,164
その他	2,965	2,353
営業外費用合計	12,492	18,199
経常利益	47,130	75,078
特別利益		
固定資産売却益	0	—
負ののれん発生益	—	2,405
特別利益合計	0	2,405
特別損失		
段階取得に係る差損	44,814	—
特別損失合計	44,814	—
税金等調整前四半期純利益	2,316	77,483
法人税、住民税及び事業税	5,245	19,994
法人税等調整額	19,967	△34,220
法人税等合計	25,213	△14,226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,896	91,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	527
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,896	91,182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,896	91,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,770	43,413
繰延ヘッジ損益	17,342	3,560
退職給付に係る調整額	478	462
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,679	△3,387
その他の包括利益合計	38,912	44,050
四半期包括利益	16,015	135,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,015	135,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	527

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

当社グループは、土木建築用資材事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	土木建築用資材	土木・建築工事	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,880,125	500,126	4,380,252	—	4,380,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,221	8,353	40,574	△40,574	—
計	3,912,347	508,479	4,420,826	△40,574	4,380,252
セグメント利益	151,091	15,980	167,072	△110,173	56,899

注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去703千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,877千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来、「土木建築用資材事業」の単一セグメントでありましたが、前第2四半期連結会計期間より、「土木建築用資材事業」及び「土木・建築工事業」の2つの区分に変更しております。これは、前第1四半期連結会計期間において、株式会社渡部建設を連結の範囲に含め、前第2四半期連結会計期間から、四半期損益計算書を連結したことにより、新たに「土木・建築工事業」を報告セグメントに追加したことによるものです。